

資料1

令和5年11月22日(水)
都市経営戦略会議
説明資料

さいたま新都心将来ビジョン 改定版（素案）について

都市局 都心整備課



● 審議事項

1

「さいたま新都心将来ビジョン改定版（素案）」について

目次

- 第1章 さいたま新都心将来ビジョンについて
- 第2章 さいたま新都心を取り巻く状況
- 第3章 さいたま新都心が今後果たすべき役割
- 第4章 目指すまちの将来像
- 第5章 まちづくりの展開
- 第6章 まちづくりの進め方



- ・平成26年3月にまちづくりの基本的な指針として「さいたま新都心将来ビジョン」を策定。
- ・本庁舎の移転が決定する等まちを取り巻く変化を受け止め、さらなる発展を目指すため令和5年度末に改定予定。

■改定の視点

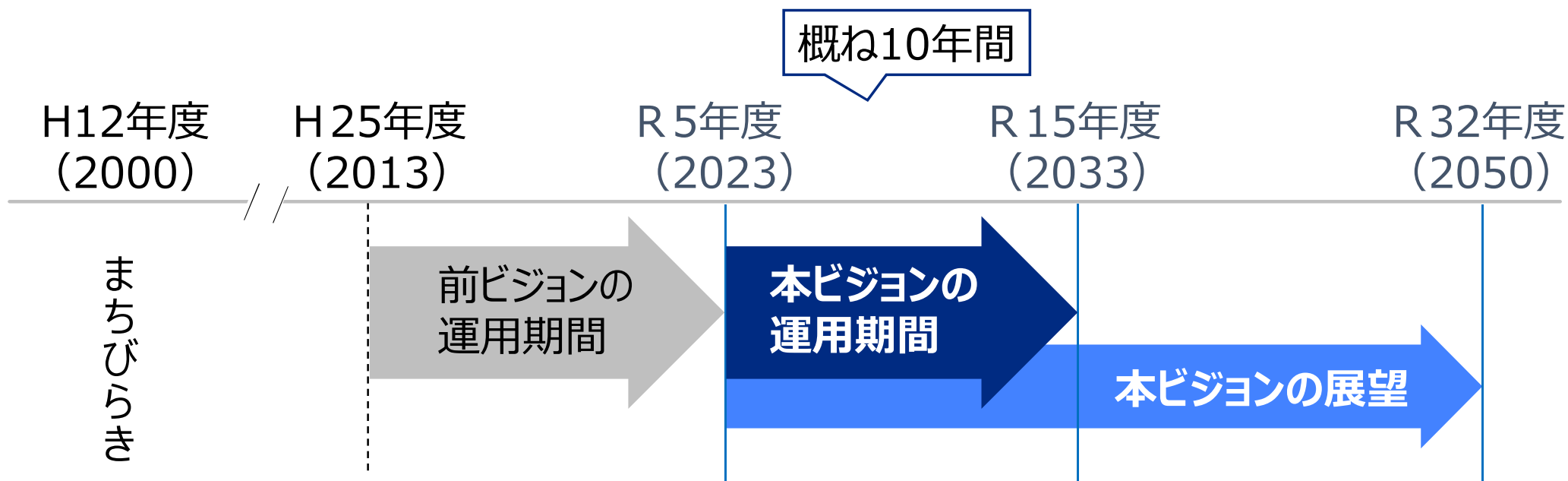
前ビジョンの継承

まちを育て、活用していく時代に
向けた戦略検討

市役所新庁舎移転に合わせた
まちの付加価値の向上

まちの変化や今後の社会の変化を
見据えた新たな都市モデルの提示

■さいたま新都心将来ビジョン目標年次



素案 P2

■ さいたま新都心将来ビジョンの位置づけ

さいたま市全体

総合振興計画

都市計画マスタープラン

分野別の計画

さいたま市緑の基本計画
さいたま市防災都市づくり計画
さいたま市見沼田圃基本計画
さいたま市産業振興ビジョン
さいたま市地域防災計画
さいたま市環境基本計画
さいたま市都市再開発の方針 など

整合
連携

さいたま新都心
将来ビジョン
【改定版】

分野別の計画と連携
しながら、まちの将来像
の実現に貢献

大宮駅周辺地区

大宮駅周辺地域戦略ビジョン
大宮駅グランドセントラル
ステーション化構想
大宮GCSプラン2020

大宮駅周辺地域・さいたま新都心駅
周辺地域都市再生安全確保計画

連携
一体的な
都心

与野本町駅周辺

与野本町駅周辺地区
まちづくりマスタープラン

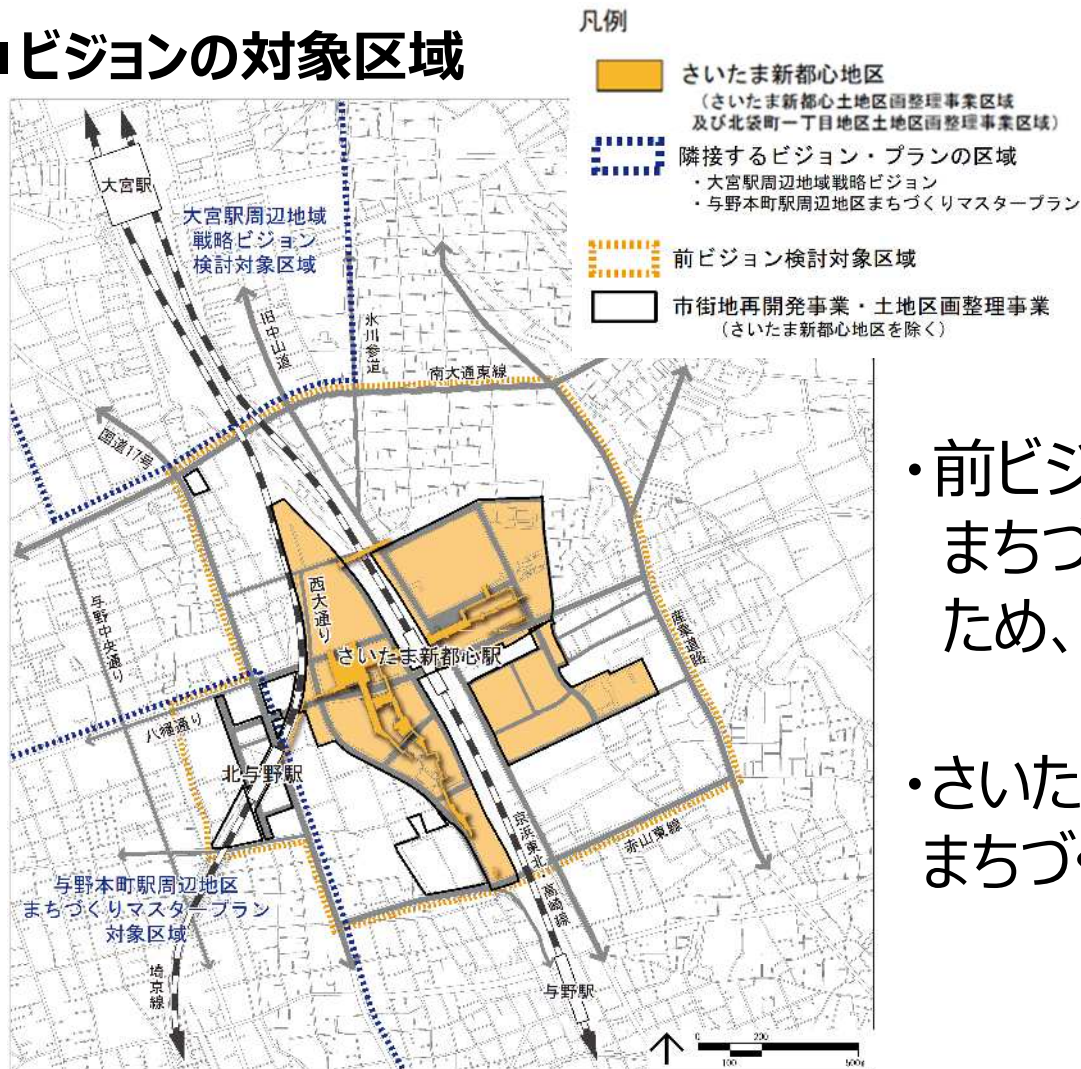
連携

浦和駅周辺地区

浦和駅周辺
まちづくりビジョン

連携

■ビジョンの対象区域



- ・前ビジョンの対象区域の外側で行われているまちづくりとの効果的な連携等が重要であるため、対象区域を明確に限定しない。
- ・さいたま市全域においてさいたま新都心のまちづくりと関連性の高い施策や取組も対象。

■ まちの成り立ち



出典：魅力発見！さいたま新都心
フォトコンテスト受賞作品

昭和59年 旧国鉄大宮操車場の機能廃止

昭和61年 第4次首都圏基本計画における業務核都市の指定

平成元年 政府機関の集団的移転の決定
さいたま新都心土地区画整理事業の都市計画決定

平成12年 国の18機関の移転開始
まちびらき（駅開業、さいたまスーパーアリーナオープン）

■ さいたま新都心土地区画整理事業におけるまちづくりの目標

自立性の高い都市圏を実現

21世紀の埼玉の中心となる新都心をつくり、東京への過度の依存を是正し、県民が誇りと愛着を持てる魅力ある自立性の高い中枢都市圏を実現。

首都機能の一翼を担う

国の機関による広域行政機能と、高次の業務・商業・文化機能の集積により、首都機能の一翼を担い、都市構造の再編をリードする広域連携拠点を目指す

「埼玉の辻」をつくる

全国の人々に愛され、常ににぎやかに人と物が行き交う創造的で楽しい都市空間、いわば新時代の様々な価値をはぐくむ「埼玉の辻」をつくる。

■ 前ビジョンの将来像

にぎわい

広域的な都市活動の拠点、にぎわいあふれるまち

安心安全

広域的な安心・安全を担うまち

公園 みどり

豊かなみどりと都市機能が融合するまち

■ 残された課題

- 「埼玉の辻」として、常に、にぎやかに人と物が行き交う創造的で楽しい都市空間形成の追求
- 広域的な都市活動の拠点として、大宮駅周辺地区との回遊動線の確保（前ビジョンからの課題）

■ 価値と魅力

都市機能が集積され、かつ、多様な種類のイベントが開催され、平日・休日ともに多様で多世代の来街者が訪れている



大規模医療機関や防災公園等、災害時における安全が確保されており、強靱性が備わっている



魅力的な自然及び歴史文化資源が近接している



■ 現在のまちの課題

- ゆとりある公園や、広場、商業施設等の公共空間を活かしたさいたま新都心地区全体の回遊促進
- 民間主体のまちづくりの自立的な展開
- 今後の人口増加に応じた住環境の形成

■ さいたま新都心周辺の主要なプロジェクト

大宮駅周辺地域戦略ビジョンの実現

大宮駅西口交通結節点の整備に係る検討

食肉中央卸売市場・と畜場移転

歴史を伝える本町通りのまちづくりの推進

芸術劇場と地域が連携したまちづくりの推進



■ 本市の政策課題

- 市役所本庁舎整備と一体的なまちづくりの実施
- さいたま新都心周辺の関連プロジェクトや地域資源との連携・回遊の強化。

■ 今後の社会情勢の変化を踏まえた課題

- 人口減少と少子高齢化の中でも更に人々が集まるまちにするため、地域固有の魅力の向上、発信
- 新たな働き方にも対応し、企業内外の交流する場やイノベーションを創出する場の拡充
- 持続可能な社会をつくるためのデジタル技術の積極的な活用
- 防災性の向上に寄与するインフラ施設の更新
- ゼロカーボンシティ実現に向けた環境施策の導入

■ 圏域別視点からみたさいたま新都心の役割

東日本

東日本の対流拠点

首都圏機能をバックアップする
広域防災拠点

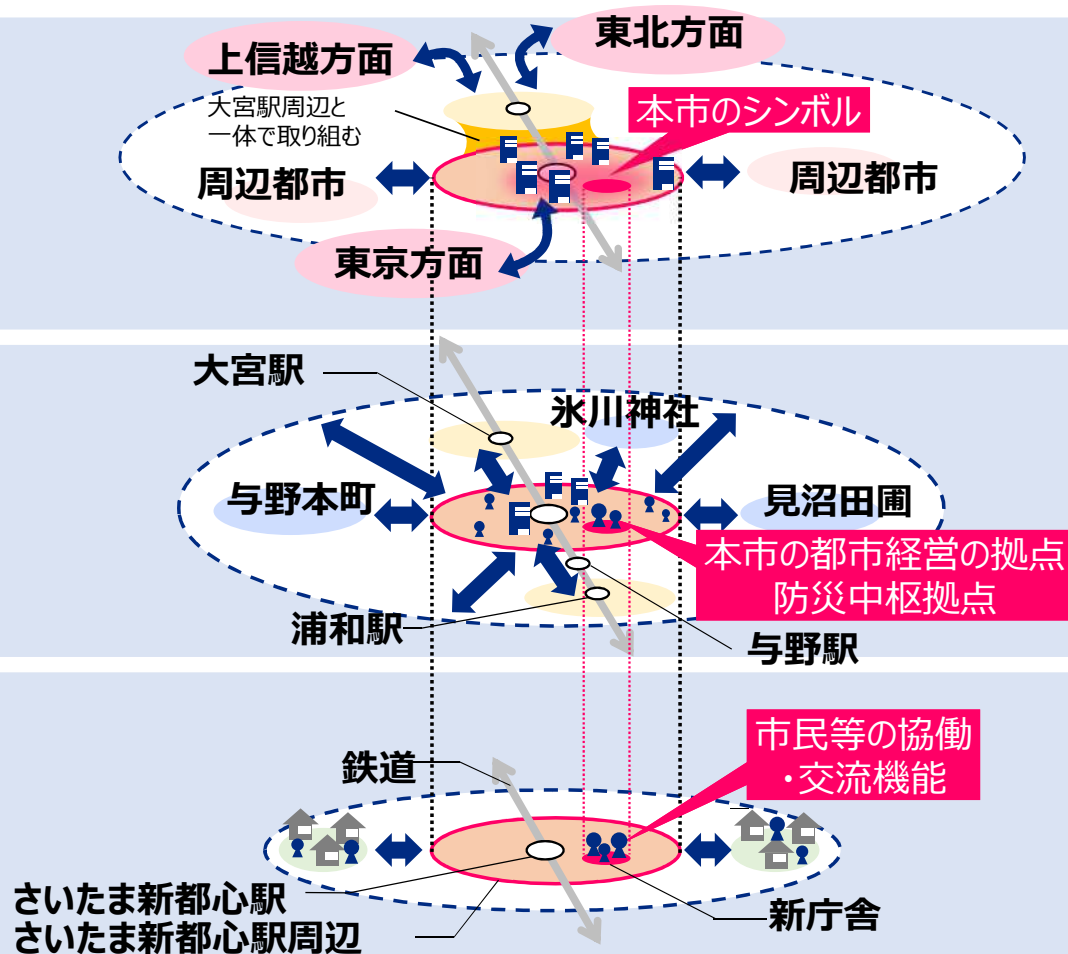
さいたま市域

全市の発展を牽引する
都市経営の拠点

周辺資源と連携する
集客・回遊拠点

周辺地域

多様な交流や
市民活動の拠点



■まちの将来像

さいたま新都心のまちの成り立ちや状況を踏まえて、概ね30年後（令和32（2050年）年頃の）まちの将来像・目標を以下のように設定する。

まちの
将来像

首都圏を代表する歴史・自然資源が調和したシンボリックな都市空間と都市機能の集積、集客力を生かした持続可能なまち

将来像
の
概念図

広域的な都市活動の拠点として、新たな出会いや価値を提供する、にぎわいあふれるまち

目標1 にぎわい

首都圏を代表する歴史・自然資源が調和したシンボリックな都市空間と、都市機能の集積、集客力を生かした持続可能なまちづくり

目標2 安心・安全

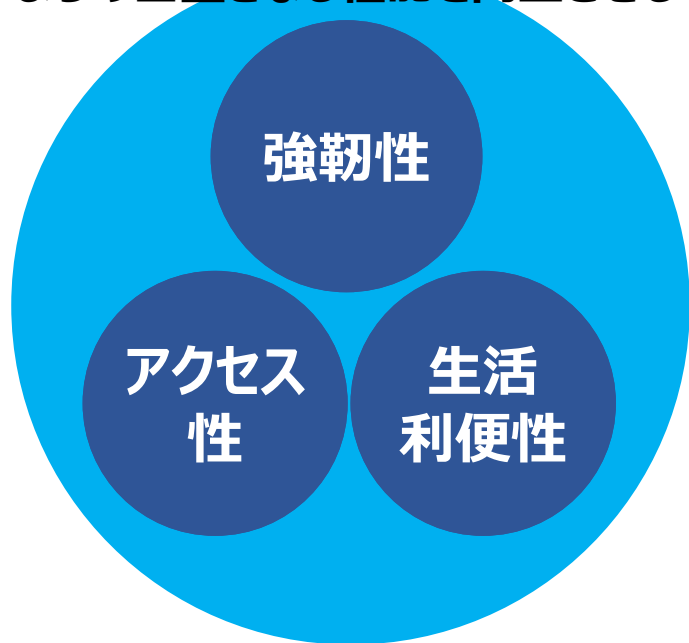
広域的な“安心・安全”を地域と連携して担うまち

目標3 みどり

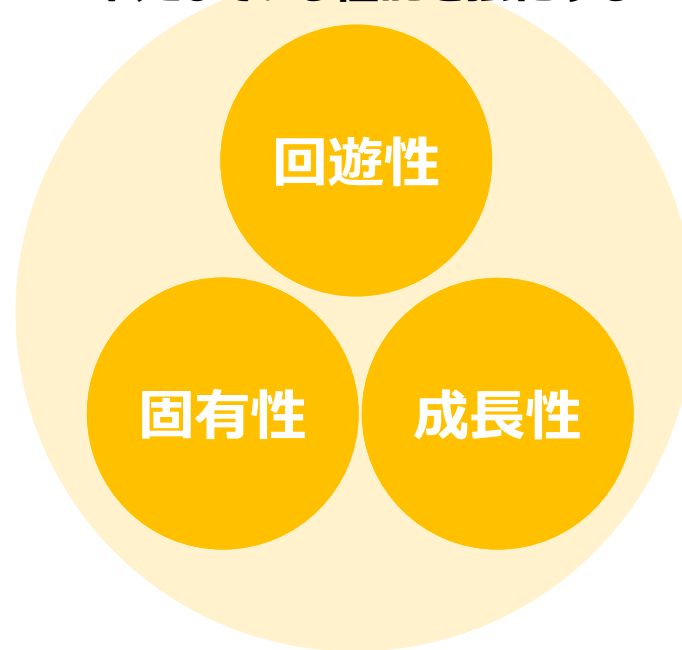
みどりと都市が共生する、居心地よく、ゼロカーボンを牽引するまち

■まちづくりの戦略

取り巻く環境の変化に伴い
まちの基盤となる性能を向上させる



都心として更に発展していくため
不足している性能を強化する



まちづくりの戦略に基づいた施策実現に取り組む

■ 目標 1

広域的な都市活動の拠点として、新たな出会いや価値を提供する、にぎわいあふれるまち

- 施策 1 高次都市機能の集積を図る
- 施策 2 交流が生まれる場をつくる
- 施策 3 まちの魅力を高め、発信する

展開図
(にぎわい)

■ 目標 2

広域的な“安心・安全”を地域と連携して担うまち

- 施策 1 広域防災拠点として機能を強化する
- 施策 2 災害時の安心安全を確保する
- 施策 3 移動の快適性と安全性を高める

展開図
(防災)
展開図 (移動)

■ 目標 3

みどりと都市が共生する、居心地よく、ゼロカーボン牽引するまち

- 施策 1 みどりを軸としたウォークブルを推進する
- 施策 2 居心地よい空間を創出する
- 施策 3 まち全体に脱炭素化を展開する

展開図
(みどり)

■目標 1

広域的な都市活動の拠点として、新たな出会いや価値を提供する、にぎわいあふれるまち

施策 1 高次都市機能の集積を図る

施策 2 交流が生まれる場をつくる

施策 3 まちの魅力を高め、発信する

■ヒトの交流のイメージ

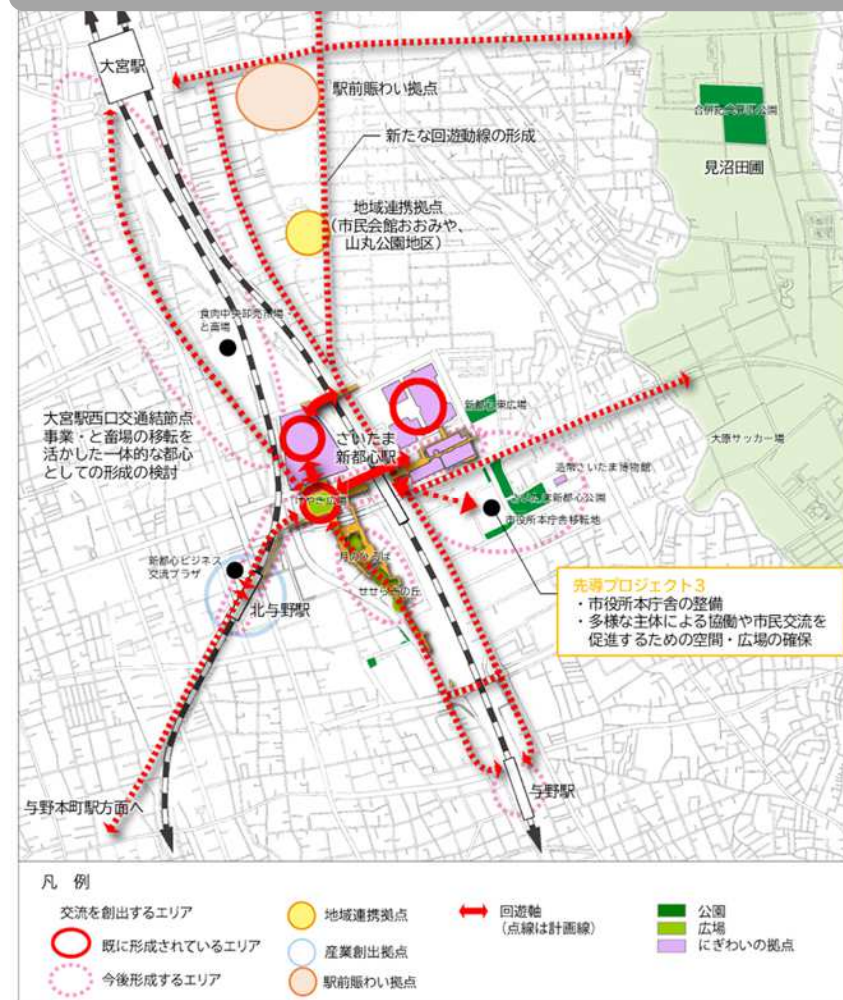


■情報発信機能



さいたま新都心駅前大型映像装置

まちづくりの展開図 (にぎわい)



■目標2 施策1・2

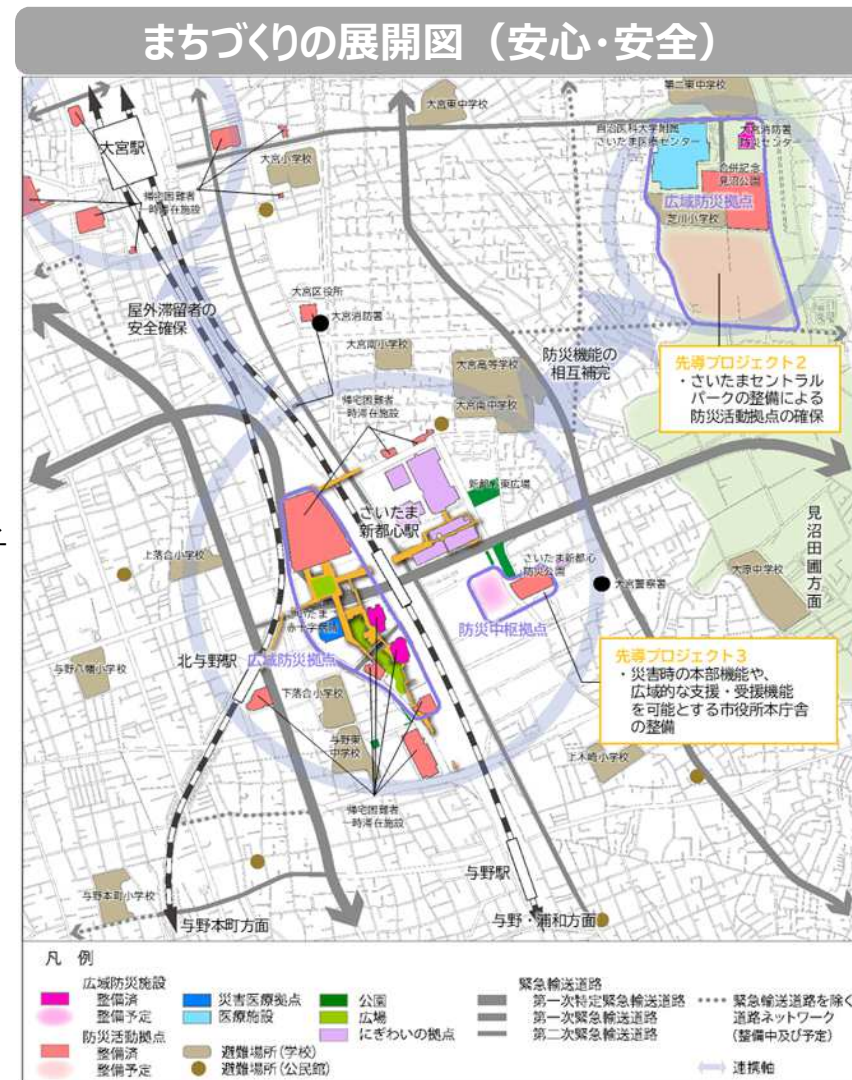
広域的な“安心・安全”を地域と連携して担うまち

施策1 広域防災拠点として機能を強化する

施策2 災害時の安心安全を確保する

■広域防災拠点のイメージ

■帰宅困難者対策訓練(H25)の様子



■目標2 施策3

広域的な“安心・安全”を地域と連携して担うまち

施策3 移動の快適性と安全性を高める

■次世代モビリティ（例）



電動キックボード



セグウェイ



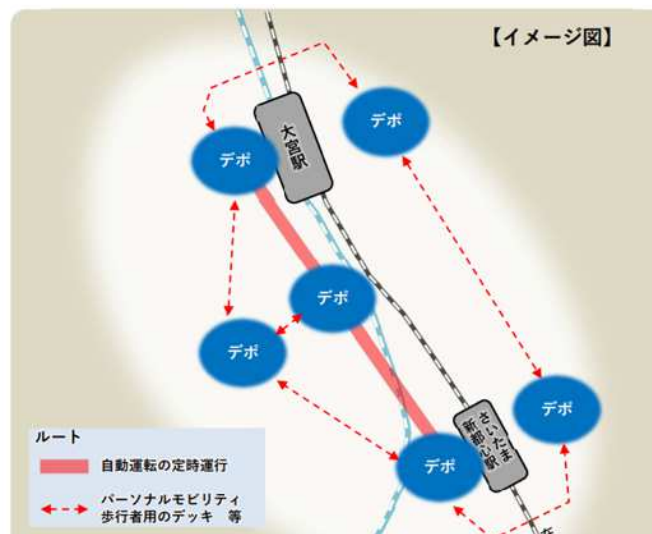
立乗式電動スクーター



自動配送ロボット

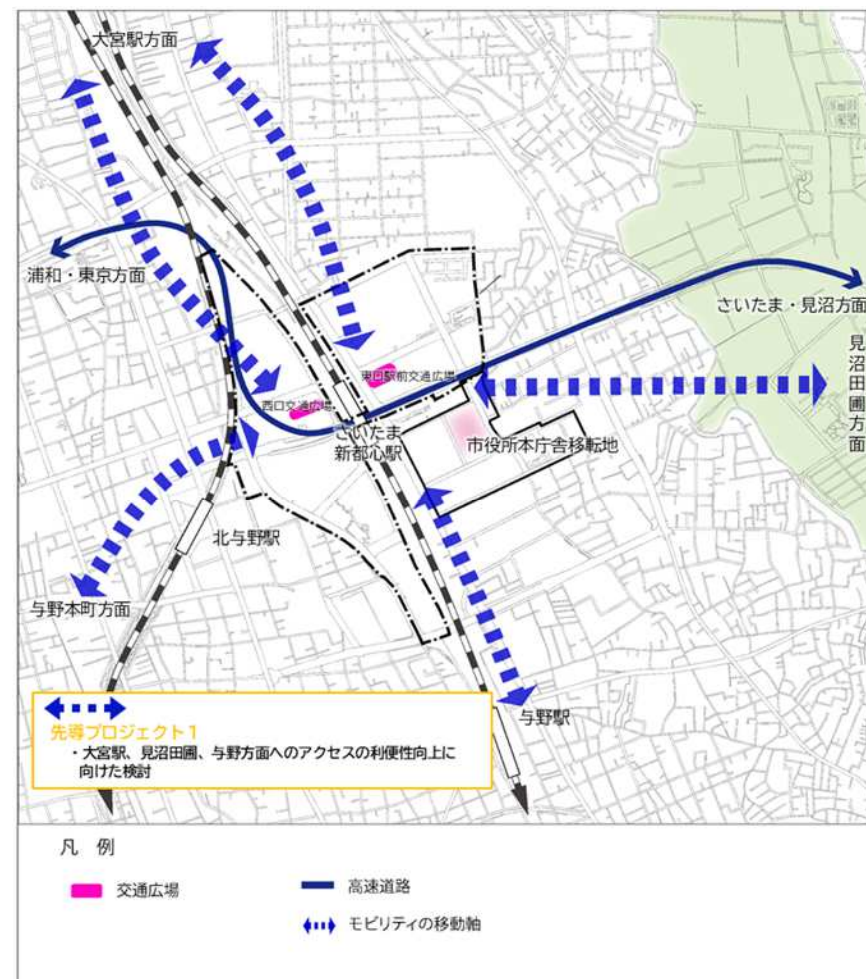
出展：国土交通省ホームページ

■モビリティネットワーク構築



第2回大宮駅西口交通結節点事業計画
検討会資料 デポ：モビリティの乗降場

まちづくりの展開図（移動）



目標3

みどりと都市が共生する、居心地よく、
ゼロカーボンを牽引するまち

施策1 みどりを軸としたウォーカブルを推進する

施策2 居心地よい空間を創出する

施策3 まち全体に脱炭素化を展開する

■みどりの機能を活かした
ウォーカブルな街なかの創出



■公共施設における脱炭素化の
取組



さいたま新都心駅東西自由通路のLED化事業

まちづくりの展開図（みどり）



国で検討中の事業

核都市広域幹線道路の
計画の具体化に向けた検討



出展: 第1回核都市広域幹線道路
地元検討会資料

大宮駅西口交通結節点の整備検討



出展: 第2回大宮駅西口交通結節点
事業計画検討会資料

**整備の実現により、関東圏のアクセス性が飛躍的に向上
ヒト・モノ・情報の交流促進を期待**

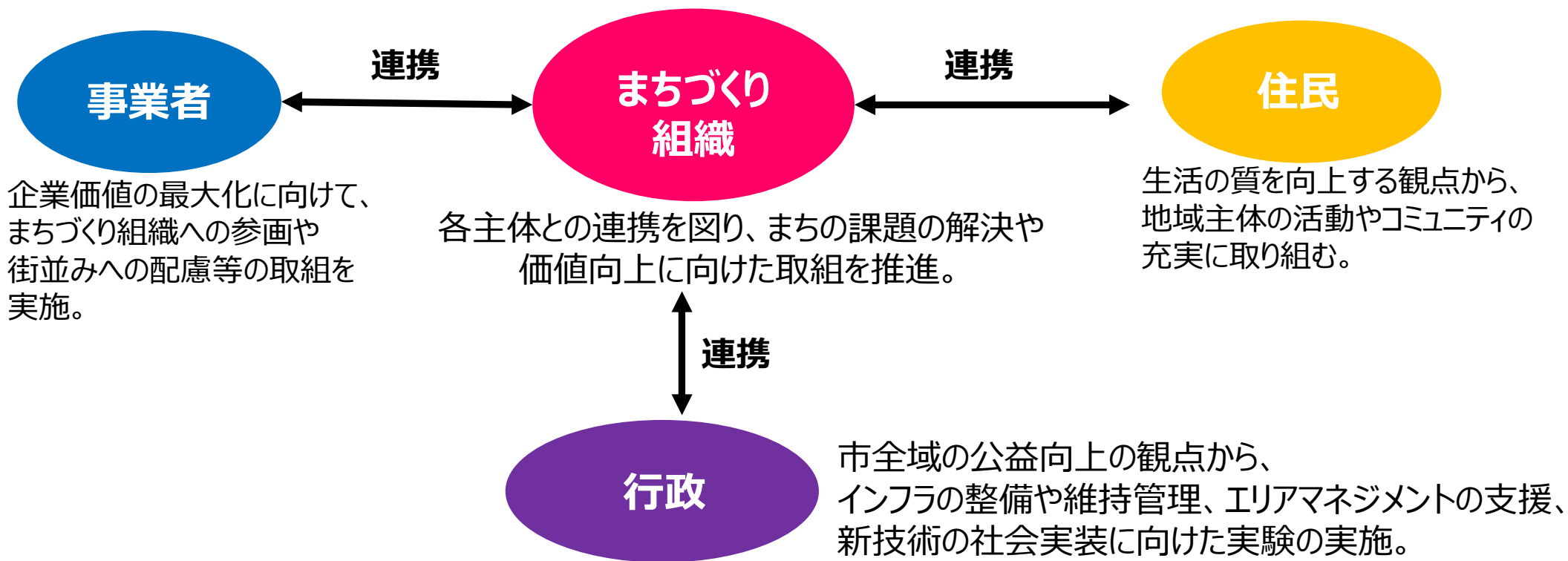
国の事業を活かして、まちづくりの施策に取り組み
東日本圏域から見たまちの付加価値向上を図る。

広域のまちづくりの展開図



今後のさいたま新都心のまちづくりには、**各主体をつなぎ、交流や新たな価値を生む機会を創出するまちづくり組織**が中核となり、「育てる」まちづくりを推進することが重要

■まちづくりの主体と役割



まちづくり組織のうち、法人格を持つエリアマネジメント組織は、企業・住民・行政の間をつなぎ、きめ細かい調整や交渉等を可能とする推進力のある活動を期待。

■ エリアマネジメント組織に期待すること

持続的な活動が
展開できる
組織づくり



さいたま新都心の
多様な主体を
「つなぐ」関係づくり



さいたま新都心で「育てる」まちづくりの
中核となる組織へ

さいたま新都心で活動するエリアマネジメント組織



SAITAMA SHINTOSHIN
AREA MANAGEMENT



包括協定書の締結



大型映像装置の運営

成果

- ・公共空間の活用による賑わいの創出
- ・大型映像装置の運営

課題

- ・会員以外に活動を周知し理解してもらうこと
- ・必要な活動資金を得ていくこと

さいたま新都心で、協働のまちづくりを推進していくため、本市はエリアマネジメント組織の成長に向けて様々な方策を実施。

1 多様な関係の構築を生み出すための機会の創出

- ▶ さいたま新都心に関係するまちづくり組織同士の情報共有や意見交換を行う機会の創出
- ▶ 本市が策定する各種計画におけるエリアマネジメントの位置づけ
- ▶ 本市が主導する各種事業への参画促進

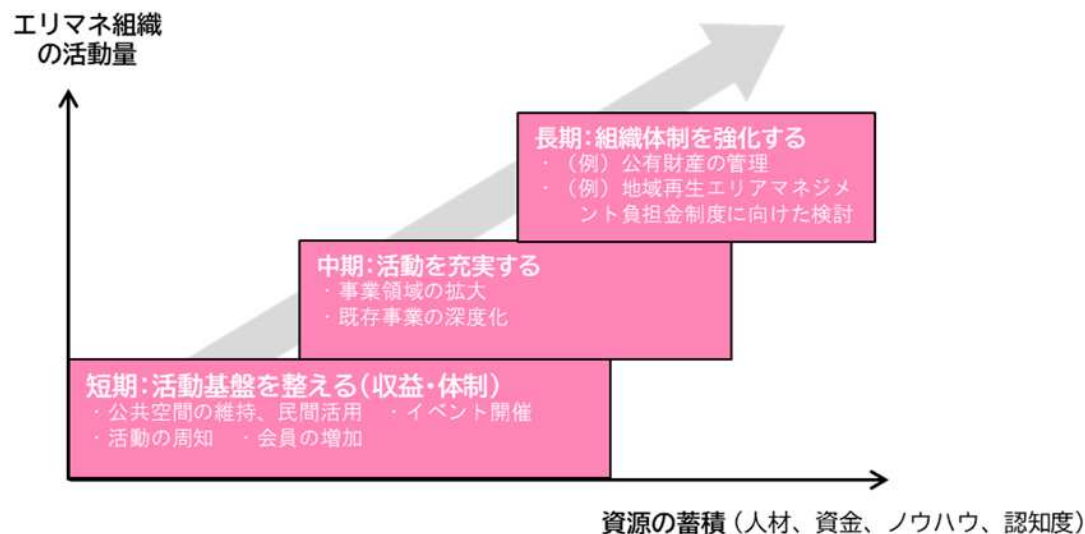
2 まちづくり制度情報の提供、活動の周知

- ▶ 他都市・地区の先行事例、まちづくり制度の情報提供
- ▶ 市の情報媒体を活用したエリアマネジメント活動の情報発信
- ▶ エリアマネジメント活動の効果検証の支援

3 都市再生推進法人の指定に向けた支援

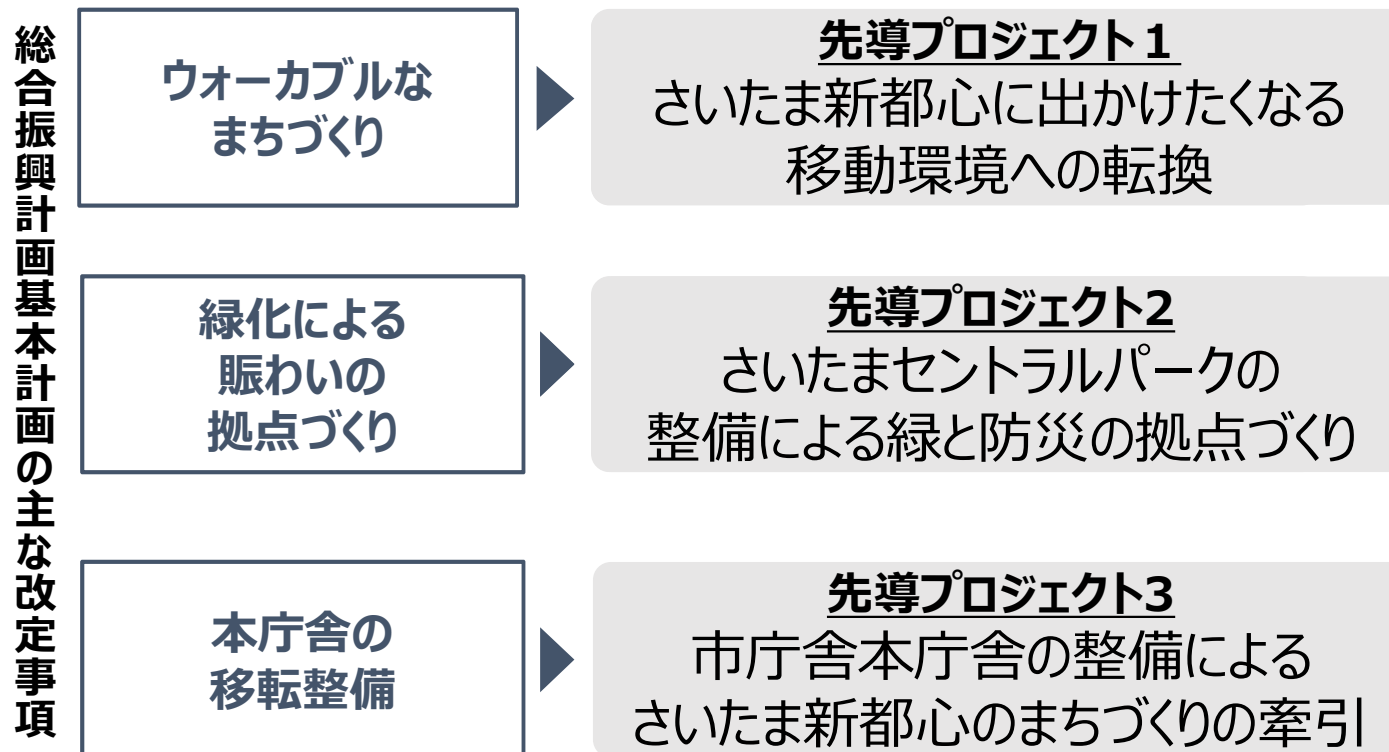
- ▶ 都市再生推進法人の指定に向けた支援
- ▶ 公共空間利活用に向けた技術的支援
- ▶ 公共空間利活用時の手続きの簡素化

■ エリアマネジメント組織のステップアップのイメージ



行政で現在検討を進めており、かつ、今後積極的に実施する取組を「**先導プロジェクト**」として設定

■先導プロジェクトの設定

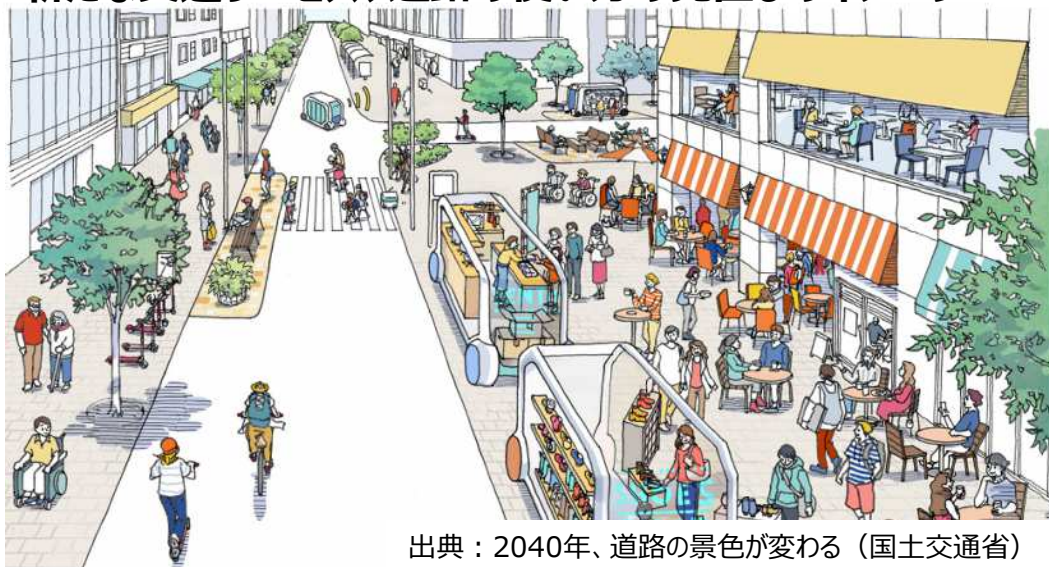


先導プロジェクト1

さいたま新都心に出かけたくなる移動環境への転換

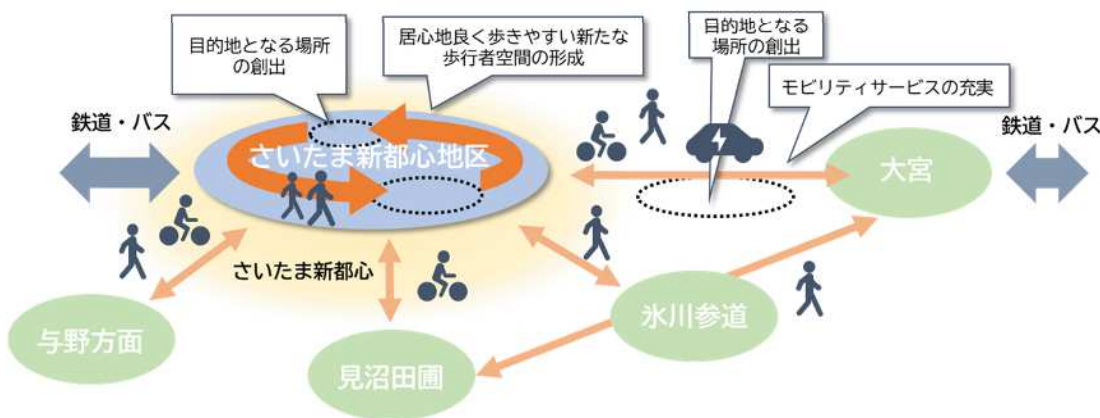
鉄道駅を核として、だれもが移動しやすく、人中心に最適化された都市空間・環境を形成することにより、さいたま新都心に、出かけ、回遊したくなる移動環境への転換を目指す。

新たな交通サービス、道路の使い方の見直しのイメージ



出典：2040年、道路の景色が変わる（国土交通省）

出かけたくなる移動環境への転換の考え方



【まちづくりを先導する取組】

先進技術を活用した
交通施策の計画的推進

モビリティサービスの充実

居心地が良く歩きやすい
歩行者空間の形成

目的地となる場所（行きた
くなる場所）の創出

先導プロジェクト2

さいたまセントラルパークの整備による緑と防災の拠点づくり

合併記念見沼公園の南側に約11.8haの公園を整備する。見沼田圃における市民交流や憩いの場となるとともに、大規模災害発生時の避難場所や、広域的な防災活動拠点としての役割も期待。

【さいたまセントラルパークの役割】

見沼田圃の保全・活用・
創出を先導する

見沼田圃と市民をつなぐ

さいたまセントラルパーク整備イメージ※



平面計画※



※平面計画、イメージは確定するものではありません。詳細は今後検討していきます。

先導プロジェクト3

市役所本庁舎の整備によるさいたま新都心のまちづくりの牽引

本市誕生の象徴であり、市の中心に位置するさいたま新都心に、都市経営の拠点として本庁舎を整備することにより、さいたま新都心のこれからのまちづくりを牽引。

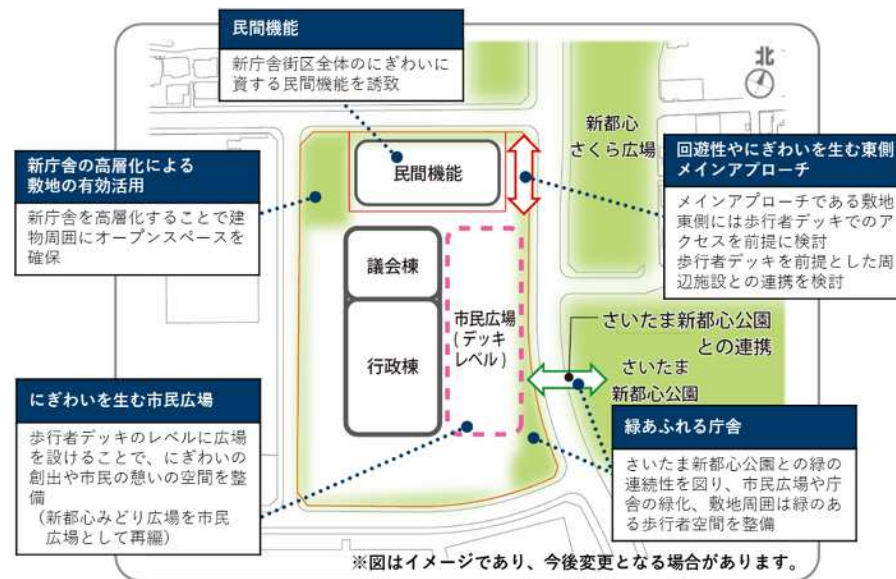
市役所本庁舎整備によるまちへの効果

- 歴史・文化を継承したシンボリックな市役所により、市民・事業者がまちに対して誇りを感じてもらえる。
- さいたま新都心地区等への新たな回遊拠点の形成。
- 地区内のほかの建築物への脱炭素化が促進される。
- グリーンインフラの取組の推進が図れる。

市役所本庁舎整備予定地



建物配置イメージ



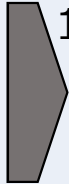
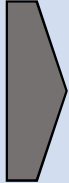
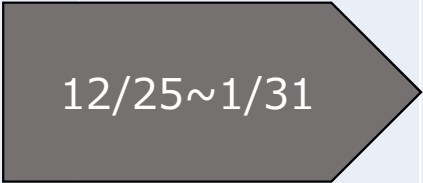
ビジョンの見直しについて

- ▶ 取組の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、令和15年（2033年）を目途にビジョンの見直しや次期計画の必要性を検討する。

個別の取組の進捗管理

- ▶ 本ビジョンに位置づけた個別の取組は、所管する各課間の調整を行い、事業の具体化に合わせ、実施計画へ位置づけるなど、計画的な事業の進捗管理に取り組む。
- ▶ 「育てる」まちづくりの基幹となるエリアマネジメント組織との連携等は、柔軟にトライアンドエラーを繰り返し、適宜軌道修正をしながら進める。

今後のスケジュール(案)

	2023年		2024年		
	11月	12月	1月	2月	3月
都市経営 戦略会議	 11/22				
議会報告					
パブリック コメント			 12/25~1/31		
改定					